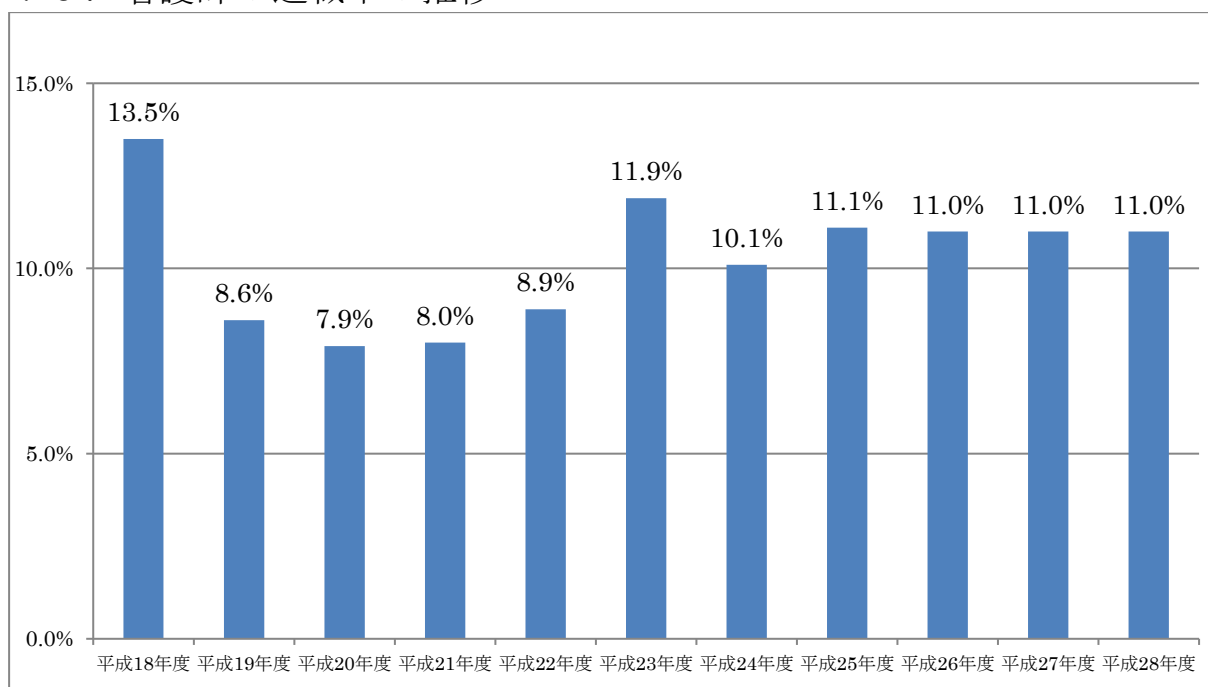


79. 看護師の退職率の推移



看護師の退職率は看護の質に大きく関わり、看護の質の変化で医療の質にも影響を与える。私立医科大学病院の看護職員全体の平均退職率は平成27年度10.5%であり、平成28年度当院はそれを上回った11.0%であった。全国的にも平成20年度以降年々増加の傾向にあり、離職防止策を強化して実施する事が求められる。

人員の交替は組織の新陳代謝のためにも必要な事ではあるが、教育にかける時間や募集のための活動、それらの費用なども含め、退職率の低下を今後も推し進める。

また、平成32年岡崎医療センター（仮称）の開院に向け、計画的な看護師確保が必要となり、人員配置を見据えた人材育成が必要となる。

データ提供 看護部